

【募集要項】

2026 年度 JICA 国際理解教育/開発教育指導者研修 主催：JICA 地球ひろば 後援：日本国際理解教育学会

1. 背景

国際協力機構（JICA）は日本の政府開発援助（ODA）を一元的に行う実施機関であり、約 150 の国・地域で国際協力を展開しています。日本国内においては、これら国際協力を通じて得た知見を生かし、「持続可能な社会の創り手」の育成を目指す学習指導要領などの学校教育の動向を踏まえ、日本の ODA の一環として、「教師海外研修」「JICA 施設訪問」「国際協力出前講座」「開発教育メールマガジン」「開発教育教材作成」など、国際理解教育/開発教育を支援する様々な事業を行っています。

本研修は、2014 年度より「教師海外研修」に参加経験のある方を対象に、継続的な国際理解教育/開発教育の授業実践促進をねらいとして開始されました。現在は「教師海外研修」への参加経験の有無に関わらず、国際理解教育/開発教育の授業実践に取り組み、各地域における国際理解教育/開発教育の推進者として活躍が期待される全国の学校教員の方々を対象に実施しています。また、2018 度からは、専門的なアドバイスをいただくため、日本国際理解教育学会の協力を得て実施しています。

2. 研修の目的

本研修では、参加者が、学習指導要領の「持続可能な社会の創り手」の育成を念頭に、国際理解教育/開発教育に関する知見や事例の共有を通じて、教員としての専門性を高め、小中高校・特別支援学校等の児童・生徒に対して、継続的かつ効果的な授業実践を行うことが期待されています。参加者は、本研修で培われた教員間のネットワークを生かし、研修後も授業実践紹介や知見の共有を実施し、各地域の学校および教育関係者への国際理解教育/開発教育の理解促進、多文化共生の促進に寄与することを目指します。

また、JICA が作成した様々な教材を積極的に活用し、授業実践を行うことが期待されています。

3. 2026 年度研修テーマ「地球とつながる授業実践 ～『多様化する世界を生きる力』を育む～」

環境問題や人権問題、戦争や紛争など、地球規模の様々な課題を抱える中、世界は急速にそして大きく変化しています。その中で 21 世紀を生きる児童生徒は、地球規模の課題解決に向けて、そして多様化する社会において、自ら考え行動する力、未来に向けて生きる力が必要です。

このような状況をふまえ、2026 年度は「地球とつながる授業実践 ～『多様化する世界を生きる力』を育む～」をテーマとしました。このテーマに沿ってグローバルな視点や地球規模の課題意識を育み、身近なところからより良い世界の共創に向けて主体的に考え行動する児童・生徒の育成を目指した授業作りと実践に取り組みます。

4. 研修日程

前半研修 2026 年 8 月 1 日（土）および 8 月 2 日（日）

後半研修 2027 年 2 月 6 日（土）および 2 月 7 日（日）

5. 会場

JICA 市ヶ谷ビル（東京都新宿区市谷本村町 10-5）

6. 研修全体の流れおよびプログラム概要

【前半研修】

| | |
|----------------------------|--|
| 2026 年 8 月 1 日（土） 終日 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 国際理解教育学会のアドバイザーによる講義 ■ 国際理解教育/開発教育の実践者による講演 ■ 授業骨子（案）の作成（導入） |
| 8 月 2 日（日） 終日 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 国際理解教育学会のアドバイザーによる講義 ■ 授業骨子（案）の共有、フィードバック、意見交換 |

【前半研修終了後～後半研修まで】

| | |
|-------------------------|--|
| 2026 年 8 月 31 日（月）まで | <ul style="list-style-type: none"> ■ 学習指導案（初稿）提出 前半研修の学びを踏まえ、実践したい授業をイメージした学習指導案の作成・提出 |
| 8 月～11 月末 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 学習授業案のブラッシュアップ（複数回） アドバイザーからの添削指導を受けながら、指導案を完成させる |
| 9 月～11 月末 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 授業実践 ブラッシュアップが完了した指導案を用いて、各自の所属校にて授業実践 |
| 12 月 7 日（月）まで | <ul style="list-style-type: none"> ■ 報告書の作成・提出 指導案の作成と授業実践を振り返り、報告書を作成・提出 |
| 後半研修まで | <ul style="list-style-type: none"> ■ 後半研修での授業実践報告の準備 効果的・効率的に報告できるようにパワーポイントなどを作成して発表の準備をする |

*授業実践については、アドバイザーや JICA 関係者、運営事務局スタッフが参観できるよう、所属校での調整をお願いします。

【後半研修】

| | |
|----------------------------|--|
| 2027 年 2 月 6 日（土） 終日 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 授業実践報告&意見交換 |
| 2 月 7 日（日） 終日 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 公開セミナー 講演および研修参加者の代表者による授業実践事例発表 ■ 講義・ワークショップ ■ 国際理解教育/開発教育の普及・促進に向けての意見交換 |

7. 実施体制

主催： 独立行政法人 国際協力機構（JICA） 広報部 地球ひろば推進課

後援： 日本国際理解教育学会

運営事務局： 一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト(GiFT)

※運営事務局：研修の円滑な実施運営のため、JICA が委託する外部機関で構成する運営事務局を設置し、同事務局を通じ、研修参加者に対する連絡・調整を行います。

8. 募集人数 20名

9. 応募資格

以下の参加資格要件を全て満たす方を対象に募集します。

- ① 全国の国公立、私立の小学校、中学校、高等学校、義務教育学校、中等教育学校、小中高一貫校、高等専門学校、特別支援学校等に勤務する教員であること。
- ② 国際理解教育/開発教育の授業実践経験があること。
- ③ 本研修の趣旨・目的を十分理解し、上記の研修期間の全プログラムに参加が可能であること。
- ④ テーマ「地球とつながる授業実践 ～『多様化する世界を生きる力』を育む～」に沿って、学習指導案の検討、作成、授業実践、実践報告に意欲的に参加すること。
- ⑤ 本研修を通じて得られた学び・成果を所属する学校内及び各地域の教育委員会、各種教員ネットワーク（研究会、勉強会等）の場において積極的に共有・紹介する意欲のあること。
- ⑥ JICA 国内拠点や各県所在の JICA デスク（国際協力推進員）等と連携・協力しながら、授業実践の紹介やセミナー・研修にも携わり、開発教育/国際理解教育の普及促進に貢献する意欲があること。
- ⑦ 研修参加後 2 年間、国際理解教育/開発教育推進のための自身の取り組みに関する報告書を JICA へ提出すること。（年 1 回：形式自由）

10. 応募方法

- (1) 応募特設サイトにアクセスし、必要事項を記入するとともに、以下(2)の提出書類を添付の上ご応募ください。

応募特設サイト <https://j-gift.org/jica-domestic-training-program/>

(2) 提出書類

① 志望動機（必須）

本研修への応募理由・動機、研修に期待すること等について、Word 等で作成し、ファイルを応募フォームに添付してください（500～800 字程度）。

② 授業実践事例（任意）

上記 9-②に関して、これまでにご自身が実践した国際理解教育・開発教育の授業の学習指導案もしくは授業案を添付してください。（可能であれば過去 1 年以内のもの。書式は問いません。）

- (3) 応募締切 2026年6月1日（月）午前10時

2026年6月8日（月）午前10時まで延長しました。

11. 選考結果について

6月中旬までに運営事務局より応募者全員にメールにてご連絡します。

12. 参加費用

以下の経費について、JICAの旅費規定に基づき JICAが負担します。

- ① 前半研修および後半研修参加のための国内移動（自宅～研修場所）にかかる交通費（経済路線）
- ② 宿泊費（支給対象者のみ。上限8,200円/泊、超過分は自己負担）

前半研修および後半研修中の食費、その他個人的費用については参加者本人の負担となります。

13. その他

- 参加者の研修中の扱い（年休/研修（職専免））などは所属先の判断によりますので、ご自身でご確認をお願いします。
- 本研修では、JICAにおける労災保険等の適用はありません。所属先の業務出張扱いで参加される場合は、各所属先の責任において、参加期間中の公務上災害に対する補償措置を行ってください。
- 本研修を通じて作成された学習指導案や授業実践報告資料一式は、研修参加者間の相互の学びのため、全研修参加者に共有します。また、他の教員の方々にも広くご参照・活用いただくために、JICA地球ひろばHP、メールマガジン、その他各種広報誌等を通じてご紹介させていただく場合がございますので、ご協力をお願いいたします。学習指導案・授業実践報告は以下のページで公開となります。

[実践事例・学習指導案 | 国際協力について - JICA](#)

- 研修や報告会の写真や動画等を、広報のためホームページ等に掲載させていただく場合があります。
- 個人情報に関するお願い
 - ・応募時にいただいた個人情報は、利用の可否を確認のうえ、本研修以外のJICAの研修やイベントの情報提供に使わせていただく場合があります。いただいた個人情報は、JICAの内部規程（個人情報保護に関する実施細則）に基づき、適切に管理いたします。

[国際協力機構法令・規程集 個人情報保護に関する実施細則](#)

- JICAでは学校教育を支援する取り組みとして、雑誌・書籍への寄稿・取材、教材制作へのアドバイス等を研修参加者の皆様のご協力をいただいております。また、研修参加者の皆様に研修やイベント参加の情報提供を行っております。
- 研修参加後の国際理解教育/開発教育推進のための取り組みについて、アンケートを実施しますので、回答へのご協力をお願いします。

以上

<問い合わせ先>

一般社団法人 グローバル教育推進プロジェクト(GiFT)

(JICA地球ひろば・教員向け研修運営事務局)

TEL : 03-4577-6767 E-mail : jica-edu@j-gift.org